

## 2022年度学習支援計画書（シラバス）

科目名			担当講師		
英会話Ⅱ			木村 達也		
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数	
必修	実習	国際情報ビジネス科	2	90	時間
担当講師の経歴又は実務経験					
米国大学卒業後、大手広告代理店にて外資系企業を担当。その後、大手航空会社米国支社で宣伝・広報業務に従事。独立後、国際会議、イベント業務のサポート。大手企業の英語講座などで活躍。現在、日本グロービッシュ研究所公認講師として幅広く活躍中。					
授業概要					
1年次で習得した会話術をに 응용編を加え、よりナチュラルに会話ができるレベルに引き上げる。					
学習到達目標					
国際ビジネスにおけるコミュニケーション・ツールとしての実践的な英語力の基礎を学ぶ。					
テキスト及び教材					
たったの68パターンでこんなに話せる 明日香出版社					
授業内容					
回	テーマ			内 容	
1	国際ビジネスにおける英語の必要性			前期のレビュー 1	
2	基本英会話(挨拶)			前期のレビュー 2	
3	基本英会話(発音のコツ)			基本ビジネス英会話(パラフレーズ/言い換え 1)	
4	基本英会話(自己紹介)			基本ビジネス英会話(パラフレーズ/言い換え 2)	
5	基本英会話(相づち)			基本ビジネス英会話(パラフレーズ/言い換え 3)	
6	英文法 1			基本ビジネス英会話(パラフレーズ/言い換え 4)	
7	英文法 2			基本ビジネス英会話(パラフレーズ/言い換え 5)	
8	英文法 3			応用ビジネス英会話(自分を伝える)	
9	英文法 4			応用ビジネス英会話(自分の国/日本を伝える)	
10	英文法 5			応用ビジネス英会話(自分のビジネスを伝える)	
11	基本ビジネス英会話(定番フレーズ 1)			応用英会話(自分のビジネスの夢を伝える)	
12	基本ビジネス英会話(定番フレーズ 2)			英文Eメール 1	
13	基本ビジネス英会話(定番フレーズ 3)			英文Eメール 2	
14	リスニング基礎			応用ビジネス英会話(ロール・プレイング)	
15	リーディング基礎			応用ビジネス英会話(ディスカッション)	
16	ライティング基礎			応用ビジネス英会話(プレゼンテーション)	
17	基本ビジネス英会話(フリー・カンバセーション)				
成績評価の方法及び基準					
ロールプレイング、プレゼンテーション、ディスカッションによる評価。 なお全体出席の2/3以下の場合、成績評価の対象外となります。					

評価		成績評価の到達度
A	優れている	理解、知識、技術にすぐれている
B	普通	一定の理解、知識、技術がある
C	やや劣る	ある程度の理解、知識、技術がある
D	劣る	理解、知識、技術がやや不足している
E	不合格	理解、知識、技術が不足している